

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 2023年 9月 29日

事業所名 イリス成城

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		定員に応じた適切なスペースを確保している。	予約状況により混みあうことがあるため、空間利用の工夫を行いスペースを確保して療育を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準を超える十分な職員を配置している。	今後も職員のスキルアップに努め、引き続き体制を整えていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		療育空間は段差のない構造になっており、トイレ内は十分なスペースを確保・手すりの設置など適切な設備整備を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		消毒と清掃を実施。常時空気清浄機をつけて、冬場には加湿器を設置している。また運動するのに適した環境整備を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		終礼やミーティングで話し合いを実施している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の意向把握は、アンケートのほかに面談や利用時のフィードバックの時などでも行うよう努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		施設内の研修機会を定期的に設け、外部研修にも参加している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との話を通じてニーズを把握し、職員で話し合いながら個別支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	事業所独自のアセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		家庭での生活の様子や保護者のニーズなどを踏まえたうえで、具体的な内容で支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画を職員間で共有し、短期長期目標を念頭に置いた支援を実施している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員同士でアイデアを出し合いプログラムを立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの成長段階、置かれている環境や情緒面の変化などに応じて、提供するプログラム内容に変化を加えるよう工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個別支援が中心であるが月数回集団活動を実施。また発達段階に合わせて一部プログラムをグループで行うなどの工夫をしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前に打ち合わせをして各々の役割確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		日々振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		療育内容の記録を各自が目を通し確認するとともに、必要に応じて話し合い・検証を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に一度実施している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者以外にも、必要に応じ可能であれば療育チーム会議に出席している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じ行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象者なし。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象者なし。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じ情報共有等の連携を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの要請に応じ、就学支援シートの記入を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じ情報共有等の連携を行っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		保護者のご意見も伺いながら、今後検討していく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		協議会とのつながりがあるので、参加については今後検討していきたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育終了後のフィードバックの時間に、保護者とのコミュニケーションを密にとり支援のねらいと内容を詳細に伝えるとともに、家庭での様子・保護者のニーズを聞き取るなど共通理解を基に取り組める環境づくりを行っている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	トレーニングは行っていないが、保護者とのコミュニケーションの中で助言を行っている。	必要に応じ検討していく。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時等に実施している。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		療育時間中やフィードバック時などを活用し行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者のご意見も伺いながら、今後実施について検討していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に相談・苦情窓口を案内している。担当者に限らず申し入れがあった場合は迅速に対応するよう努めている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年間を通して会報を発行し活動内容を発信。行事の案内等については月1回メールで送信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類は鍵付きの保管庫に収め、第三者の目に触れることがないように配慮している。	
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		状態や状況に合わせて工夫をしている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		面談時等に確認するとともに、保護者記入の書類に記載欄を設けている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			食事等の提供は行っていないが、保護者に提出していただく書類にアレルギー記載の欄も設けて確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で情報を共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修への参加と、事業所内で定期的に研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		対象者なし。 身体拘束に関しては契約書に記載し保護者に説明している。	